

=====

<水球陣>七帝戦決勝

H27.8.30 対大阪大学 @宮城県仙南総合プール

東大 4 0 2 2 5 計 1 3

阪大 2 1 4 1 3 計 1 1

七帝戦決勝。前日、勝っている相手とはいえ、気を引き締めて戦わないと危険な相手である。4年生の引退試合でもあるため、最後は優勝したいところだ。

第1ピリオド

先制したのは東大。谷口のパスカットからチャンスをつくり浪間が決める。しかしすぐに阪大に退水のチャンスを決められ追いつかれる。さらに阪大のチャンスは続くが疋田のセーブによりしのぎ切る。その直後、東大はカウンターチャンスで石田が決めてリードする。流れにのった東大はさらに2点を加える。ピリオド終了直前に1点を返され第1ピリオド終了。

第2ピリオド

リードを広げたい東大だったが、阪大にカウンターを決められ差を縮められる。その後東大は退水のチャンスで浪間が決めたかのように見えたが審判の判定はノーゴール。そのままピリオド終了まで両チームとも決め手を欠き得点をあげられないまま東大が1点リードで第2ピリオド終了。

第3ピリオド

開始早々に東大はパスカットをされカウンターを阪大に決められ追いつかれる。すぐに浪間がバックシュートを決め、リードする。しかし、阪大もすぐに点を取り返し同点に追いつかれる。さらに退水のチャンスを決められ逆転される。両チームとも点が取れない膠着状態が続いた後、阪大にパスカットからカウンターを決められ、リードを広げられる。ピリオド終了直前に浪間がシュートを決める。東大が1点を追う形で第3ピリオド終了。

第4ピリオド

開始直後、浪間のカットから退水のチャンスが生まれ池亀が確実に決め同点に追いつく。さらに、パスカットからチャンスをつくり浪間がそれを決め逆転する。しかし、すぐに阪大に芸術的なループシュートを決められ、追いつかれる。その後、両チームともチャンスをつくるが、最後のディフェンスの頑張りやキーパーの好セーブにより得点を奪えないまま第4ピリオド終了。

PS 合戦

七帝戦優勝がかかる PS 合戦なだけに会場内に緊張感が漂う中東大の選考で始まる。まず、東大一人目の浪間が落ち着いて決める。5ペセーブの名人である正田が阪大の一人目のシュートをとめる。その後両チームとも二人目から四人目は全員シュートを決める。5人目を決めれば勝ちという状況で余裕の表情を浮かべている石田が決め、東大の優勝が決まった。

前半リードしていたものの、次第に流れが悪くなり一時は逆転されたものの再び追いつくことができ、最後まで油断できない展開となった。PS 合戦では全員が自分たちの仕事をする事ができたので、七帝戦優勝することができた。最後に、遠いところまで応援にいらしてくださった 吉田さん、轟さん、有吉さん、井出さん、大脇さん、圭奈子さん、郁さん、本当にありがとうございました。